

宗像区中学校柔道大会 新型コロナウイルス感染症防止対策

(1) 全般

- ①試合場には、選手、監督、コーチ、役員（学校関係者）、審判、補助生徒、指定された観戦者のみが入場できる。
- ②開閉会式は行わない。試合前に説明と諸注意のみ行う。団体・個人ともに順位が決定次第、本部席にて表彰を行う。

(2) 会場

- ①試合場は、常時換気したままで試合を行う。
- ②出入口は1カ所に限り、消毒剤と体温計を設置する。入場者全員、入場時に手指の消毒を行う。
発熱(37.5度以上)がある者は入場できない。(選手は棄権とする。)
- ③更衣室は設けない。(選手は、あらかじめ柔道着を着用して来場する。)

(3) 選手

- ①参加選手は、試合の趣旨と内容を理解した上で、本人と保護者の同意のうえ出場する。出場する場合は、参加同意書(中体連様式)を当該学校長に提出し、学校長の責任の下に出場する。同意書は学校にて、大会終了後2週間保管する。
- ②日常の検温等の健康管理を行う。大会2週間前から、体調記録表(中体連様式)に記録し、発熱や激しい咳や胸腔の痛み等、風邪の諸症状がある場合は医師の判断を仰ぐ。体調記録表は学校にて、大会終了後2週間保管する。
- ③当日朝、体調確認票(中体連様式)を用いて健康チェックを行い、同様の諸症状があれば出場を控える。体調確認票は受付に提出し、大会終了後2週間専門部で保管する。
- ④入場時の検温は行わない。各自、当日朝に検温を行い、各記録表に記入する。発熱(37.5度以上)がある場合は入場できない。
- ⑤入場する際は、必ず手指の消毒を行う。
- ⑥ウォーミングアップと試合時以外は、必ずマスクを着用する。試合開始後は、試合を行っている選手のみがマスクを外してよい。(試合後は、呼吸が整ってからマスクを着用する。)
- ⑦ミーティング等、密になる状況は極力避ける。
- ⑧更衣室は使用しない。あらかじめ柔道着を着用しておく。
- ⑨試合後は、自宅にて全身をシャワー等で洗う。

(4) 監督・コーチ・審判・役員

- ①常時マスクを着用する。
- ②当日朝の入場時は手指の消毒を行う。
- ③監督会議、ミーティング等では、密になる状態は極力避ける。
- ④監督・コーチは、当日朝、体調確認票を用いて、選手・控え生徒・引率者全員の健康チェックを行い、受付に提出する。チェック項目に異常があれば出場を控える。
- ⑤審判・役員は、当日朝、体調確認表を用いて健康チェックを行い、発熱や激しい咳や胸腔の痛み等、風邪の諸症状がある場合は出場を控える。体調確認表は、当日受付に提出する。
- ⑥監督・コーチ・審判・役員は、必ずIDカードを着用する。

(5) 保護者(観戦者)

- ①応援の保護者は出場選手1人につき2名以内とし、当日朝、学校ごとに一覧表を提出する。風邪症状がある者や、当日朝の検温で発熱(37.5度以上)がある場合は入場できない。会場では常時マスクを着用し、剣道場から観戦する。選手の保護者以外は入場できない。
- ②入場時、チームごとに観戦者等体調確認票(柔道専門部様式)に記入(応援者本人氏名・連絡先・体温・健康チェック)する。発熱(37.5度以上)の場合は入場できない。同時に手指の消毒も行う。
- ③大きな声での声援を控え、剣道場の指定された席のみから観戦を行う。
- ④応援の保護者は、入場する際、必ずIDカードを着用する。